平成 28 年 7 月 26 日

各　　位

会　社　名　株式会社スマートバリュー
代 表 者 名　代表取締役社長　　渋　谷　　順
（コード番号：9417）
問い合わせ先　取締役経営管理管掌　田　中　　健　作
TEL. 06-6448-1711

自動車に特化した IoT プラットフォーム「クルマツナグプラットフォーム」の提供開始のお知らせ
～「クルマの管理ツール」を自社で手軽に内製化～

株式会社スマートバリュー（本社：大阪市西区、代表取締役社長：渋谷　順、以下、（株）スマートバリュー）は、モビリティ向け IoT プラットフォーム「クルマツナグプラットフォーム」を 2016 年 8 月 1 日から提供を開始します。

１．開発の背景

（株）スマートバリューは、祖業から発展させたモビリティ向け IoT サービスと、広く全国の自治体に向けた地域情報クラウドサービスを主として事業展開しています。

（株）スマートバリューでは、2008 年からモビリティ向け IoT サービスを提供してまいりましたが、2015 年にローンチした「CiEMS 3G」は、法人の営業車両等を手軽に管理できる IoT パッケージ商品として、好評を博し、短期間で 70 社超の法人様から、3,000 台を超えるご契約を頂くことができました。

この度、更なる車両データの活用推進及び車両にまつわる課題解決のため、IoT サービスをプラットフォームとして再構築し、ソフトウェア開発会社様、デバイスメーカー様及び、新たに IoT サービスの展開を検討している事業者様へ、プラットフォーム提供を開始することとなりました。

２．特徴

（株）スマートバリューの「クルマツナグプラットフォーム」は、自動車に特化した IoT プラットフォームとして、以下の機能を搭載しております。

① センシングデータのフィルタリング機能

車両から取得されるデータは、車両という過酷な利用環境により、ノイズや異常値等、様々なイレギュラーデータが発生します。

「クルマツナグプラットフォーム」では、（株）スマートバリューがおよそ 10 年に渡るモビリティ向け IoT サービス事業者のノウハウを活かし、様々な閾値やルール設定によりプラットフォーム側でノイズや異常値をフィルタリングすることが出来る機能を搭載しました。

また、接続されるデバイスによって、新たな固有のフィルタリングルールを設定することも可能です。

② プラットフォームでのデータ変換機能

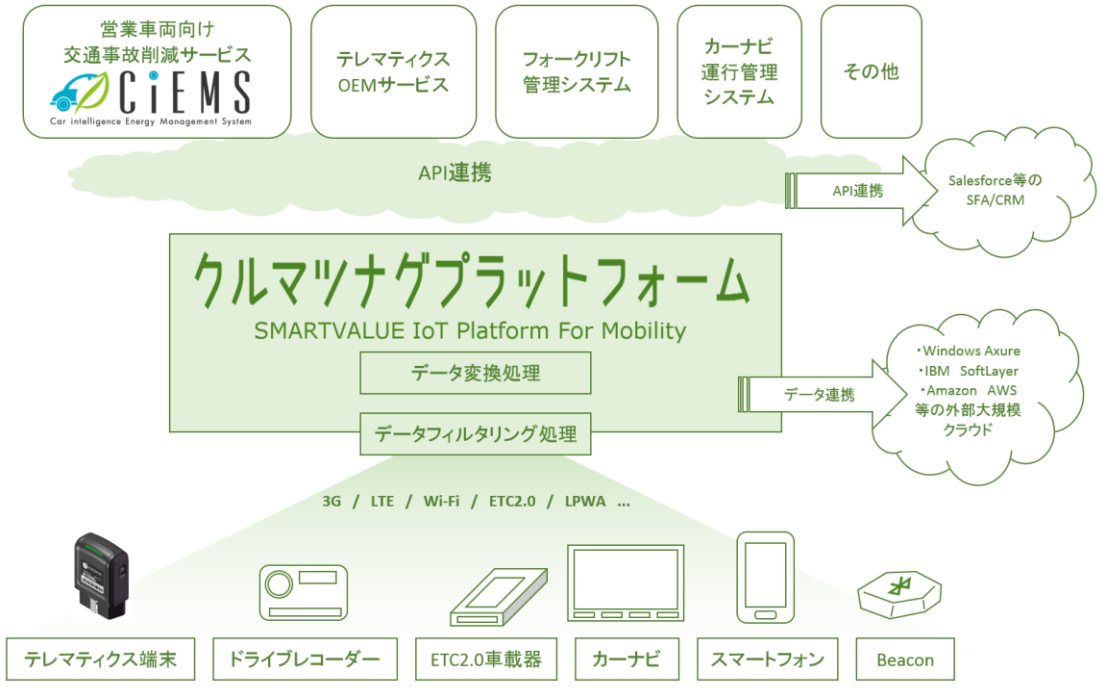
テレマティクス端末や、GPS トラッカー、ドライブレコーダー、ETC2.0 車載機など、さまざまなデバイスに対応するため、プラットフォーム側で各種データの変換機能を搭載しています。

この機能により、異なる複数のデバイスから取得したデータも、同一のアプリケーション上に表示することが可能となります。

③ 豊富な API を提供
プラットフォームに集められたデータは、様々な API でデータを表示するためのアプリケーションに接続することが出来ます。
Salesforce 等の SFA や CRM に走行データを連携することも可能です。

④ データ可視化アプリケーション「CiEMS」の OEM 提供
当社の営業車両向けテレマティクスサービス「CiEMS」の OEM 提供も開始します。
これにより、データ可視化のためのアプリケーションを新たに構築する必要がなく、短期間でモビリティ向け IoT サービスを開始することが出来ます。
モビリティ向け IoT デバイスを提供されているデバイスメーカー様も低コストで自社デバイスのクラウドサービスを提供することが可能となります。

3. サービスイメージ図



（株）スマートバリューは、モビリティ向け IoT プラットフォーム「クルマツナグプラットフォーム」の提供により、更なる車両データの活用を推進し、車両にまつわる社会課題の解決に尽力いたします。

※掲載されている会社名・商品名・サービス名は各社の商標または登録商標です。

以　上

【お問い合わせ先】経営企画 Division　戦略 IR グループ
TEL:　06-6448-1711